

UNITED FOR A JUST FUTURE

IndustriALL Global Union 3rd Congress
14-15 September 2021

インダストリアル、加盟組織および仕事の世界における 不平等、性差別、女性蔑視およびジェンダーに基づく暴力の 根絶を求める決議

インダストリアル執行委員会や、ごく最近では女性鉱山労働者ネットワーク会議などで、何人かのインダストリアル・グローバルユニオン執行委員が性差別的・女性蔑視的な発言を繰り返しており、私たちは、そのような態度に大きな懸念を抱き、恥ずかしさを感じている。

これらの受け入れがたいコメントは、ディーセント・ワークと相容れないものであり、組合と職場で不平等とあらゆる形態の女性の抑圧およびジェンダーに基づく暴力を根絶するために、インダストリアルが実施してきた重要で進歩的な活動を否定するものであることを考慮し、

インダストリアル内部で論争的とみなされる可能性のある問題をめぐって、建設的で開かれた礼儀正しい議論を行うことは健全であり、民主主義とバランスのために、また、インダストリアルのように、何よりも代表の複数性や組合戦略の民主的策定に関する討議の促進に努める労働組合の適切な機能のために必要であることを認め、

しかしながら、討論や意見の相違が、インダストリアルが包括的な組織として擁護する尊重、平等、非性差別、非暴力、民主主義および連帯の原則や価値観と完全に矛盾するコメントや行動、慣行を引き起こしてはならないと考え、

特に、女性労働者は大きな労働力となっており、組織を推進する「組合の力」の強化における社会的・政治的代表であるため、ジェンダー平等やリーダーシップの構造・過程への女性参画拡大案を疑問視して退ける、労働組合指導者の受け入れがたい態度に衝撃を受け、

鉱業部門の女性ネットワーク会議に出席した女性労働者・組合員が攻撃され、ある男性の同僚が女性が鉱山で働くことの正当性を疑問視し、この部門に女性の居場所はないと主張したことに憤りを感じ、

ILO 第 111 号条約に定められているように、雇用と職業に関する差別の撤廃が中核的労働基準であること、したがって、ILO 第 111 号条約に述べられているように、人種、皮膚の色、性別、宗教、政治的見解、国民的出身または社会的出身に基づくあらゆる差別を根絶するために、労働組合は、雇用と職業に関する均等な機会および待遇の促進に取り組むべきであり、実際に取り組んでいることを想起し、

仕事の世界における暴力とハラスメントが、人種、信条または性別にかかわらず人権、公民権、政治的権利、経済的権利、社会的権利および文化的権利を保障する各種の国際連合文書および国際労働機関条約によって支持されている、人の健康、福祉、生産性、進歩および家庭・社会生活に影響を及ぼすことを認識し、

そのような性差別的・女性蔑視的なコメントは悪意のない冗談でも有効な議論でもなく、女性に対する暴力や嫌がらせの一種であり、そのようなコメントを繰り返す口にするのを許せば、女性労働組合員にとって不快、侮辱的かつ有害な環境を生み出し、インダストリアルがそのようなコメントを許容しているという印象を与えることを確認し、

インダストリアル執行委員会が、2017 年 11 月に職場と組合における女性に対する暴力や嫌がらせに反対する誓約を採択したこと、2018 年 12 月にインダストリアル活動におけるセクシャル・ハラスメント防止方針を採択したこと、2019 年 11 月に ILO 暴力とハラスメント条約（第 190 号）の促進と批准を求める新しいキャンペーンを支持したことを想起し、

結論として：

インダストリアル・グローバルユニオン大会に対し、権利、尊厳、待遇および機会の平等を否定したり、女性であることを理由に他者への敬意を欠いたりすることは女性の人権の否定であり、人権、労働者の権利および労働組合の権利の擁護というインダストリアルが掲げるコミットメントに反する、との明確なメッセージをもう一度送るよう求め、

大会代議員に対し、インダストリアルと加盟組織が、仕事の世界と傘下労働組合でジェンダーに基づく暴力を予防し、それに取り組む責任を負い、そのために必要な措置を講じなければならない旨決議すること、インダストリアルの原則と価値観の意味がすべて明白に示され、超えてはならない限度が設けられるようにすること、私たちの組織と活動において、いかなる性差別およびジェンダーに基づく暴力も、その他の形態の人権や女性の権利の侵害も、いっさい容赦しないようにすることを促す。

尊重、自由、社会的公正および平等に基づく社会の達成を目指して、インダストリアル、加盟組織および仕事の世界における不平等、差別、性差別、女性蔑視、ハラスメント、あらゆる形態のジェンダーに基づく暴力の根絶と、私たちが支持するものを反映させるための労働組合としての行動および慣行を改めて切実に求める。